



卓球

鬼っこ岩手
(選手)

ひろの しょうそう
広野 昭三さん

77歳

● 参加歴：1回目

レベルアップして、全国の仲間と再会したい

第37回を迎える歴史ある大会について、大先輩が参加し活躍されたお話などを聞くうちに、私も機会があれば参加したいと思うようになりました。並みいる強豪の中で、自分がどのくらいの成績を残せるか試してみたい——そんな想いもありました。今年には岐阜県の開催で、岩手から比較的近距离にあること、あわせて、関ヶ原の戦いなど歴戦の地の文化や古城に触れる良い機会だと思い、4月の県予選会に参加しました。

私は、ラージボール卓球に取り組んで約20年になります。健康維持を兼ね、子育ても終わって卓球を趣味として楽しむ老若男女の仲間と一

緒に、週2～3回、クラブで練習をしております。

今回、初めてねりんピックに参加し、全国から集まった60歳以上の皆さんが、日頃の練習の成果を発揮しながら澁刺と技を競い合っている姿を見ることができました。長年培ってきた技術は、年齢を感じさせない堅実な試合運びとなって表れ、対戦を重ねるごとにそのレベルの高さを実感しました。

全63チームが集結して迎えた大会初日。3チームによる予選第1次リーグ戦で、岩手県は佐賀県、岐阜県との対戦で2勝し、1位で通過。続く茨城県、大阪府との1位ブロック第2次リーグ戦では2敗。決勝リーグ7チームには残れませんでした。

チームは、北上ひばりクラブ（北上市）から5人、ラージフレンド岩手（盛岡市）から1人、合計6人で出場。大会までの6カ月間、合同練習をした成果もあり、応援いただいた仲間へ「勝ってしまいました」と報告することができました。

全国には、元気に技術を高めて研鑽されている多くの方々がいることを実感しました。試合の合間には、各県の皆様との交流もできました。次回お会いする時には、レベルアップした姿をお見せできるよう努めたいと思います。

今大会の運営や交通宿泊手配、連絡などにご尽力をいただきました関係者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。



合同練習の成果を発揮し、大健闘した鬼っこ岩手チーム！（後列右端）